学校番号	3015

令和４年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	地理Ａ	単位数	2	年次	２年
使用教科書	高等学校　新地理 A(帝国書院)　標準高等地図～地図で読む現代社会(帝国書院)						
副教材等	新地理Ａノート(帝国書院)　世界の諸地域 NOW2022 (帝国書院)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化が進む現代社会において、環境問題や経済格差など地球的課題の解決への考察をするためには、地理的事象を理解していないと前には進みません。知的な興味や関心を積極的に持って、誠実に、そして楽しく、基本を大切にして地理を学んでいきましょう!

2　学習の到達目標

現代世界の諸課題と解決への地理的アプローチが出来、自らの頭と手と足を使って、総括的に考えることが出来ることを到達目標とします。そのためには地理の基礎的知識の習得、さらに分からない点について自ら調べ、常に考察できる視野を養います。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の地理的事象に対する関心と課題意識を高め。それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本の人々、そして世界市民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画動など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	さまざまな地図と地理的技能、現代世界の系統地理的考察、現代世界の地理的考察に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	様々な地理的事象を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	地理情報に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地理的事象について各時代の人々の世界観や地図の有用性などを理解し、その知識を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	現代世界の特色	・旅からとらえる現代世界 ・世界の自然環境と文化	○	○		○	a:地理情報と地図について、各時代の人々の世界観や地図の有用性などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 b:地理情報と地図について、各時代の人々の世界観や地図の有用性などを理解し、その知識を身に付けている。 d:世界の地形、気候と文化について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	レポート(2回) 定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出
二学期	世界の諸地域の生活と文化	・中国の生活・文化 ・韓国の生活・文化 ・東南アジアの生活・文化 ・南アジアの生活・文化 ・イスラム世界の生活・文化 ・サハラ以南の生活・文化 ・ヨーロッパの生活・文化 ・ロシアの生活・文化 ・アングロアメリカの生活・文化 ・ラテンアメリカの生活・文化 ・オセアニアの生活・文化	○	○	○	○	b:世界の生活文化、民族・宗教について、分布や民族と国家の関係などを系統地理的に考察し、民族、領土問題を大観させその過程や結果を適切に表現している。 c:世界の生活文化、民族・宗教に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取った図表などにまとめたりしている。 d:世界の生活文化、民族・宗教について、分布や民族と国家の関係などとともに民族、領土問題や、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。 a:世界の生活文化、民族・宗教に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 a:現代世界の諸地域に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。またそれらの地域に見られる地域的特色を身に付けている。	レポート(2回) 定期テスト(中間・期末) ノート提出 ワーク(問題集)提出

三学期	地球規模で広がる課題・。身近な地域の課題	・世界の環境問題 ・世界の資源・エネルギー問題 ・世界の人口問題 ・世界の食料問題 ・世界の都市・居住問題 ・日本の自然環境と防災 ・身近な地域の課題と地域調査	○	○	○	○	a:世界の環境・資源エネルギー・人口・食料・都市と居住問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し捉えようとしている。 b:世界の環境・資源エネルギー・人口・食料・都市と居住問題について、分布や動向などを系統地理的に考察し、大観させ、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の環境・資源エネルギー・人口・食料・都市と居住問題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:現代世界における日本の国土について、その特色やわが国が抱える地理的な諸課題を理解し、その知識を身に付けている。	レポート(2回) 定期テスト(学年末) ノート提出 ワーク(問題集)提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。